

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目文系
職階	氏名
教授	小川清次

項目	取組状況
教 育	<p>特別研究(3年生)</p> <p>(前期)…班毎に行われる研究テーマ設定および調査遂行に関して、適宜アドバイスをを行い、必要に応じて、調査対象の具体的例示等を行った。また、研究報告会においては、まとめ・結論に関する問題点を自分たちが気づくような誘導的質問に努めた。</p> <p>(後期)…個人毎になされるテーマ設定および調査遂行に関して、毎回報告書を提出させ、各自の進行度合いの把握に努め、かつ、調査の問題点について一人ひとりと話をするように努めた。各人が設定するテーマについて、必要に応じて担当者(小川)も勉強した。学生が研究内容をまとめる際には、調査した事柄と自分自身の考え、意見とを峻別することに重点をおいて指導した。</p> <p>社会文化論(4年)</p> <p>中江兆民『三酔人経綸問答』を読み進め、人権や民主主義について考える手がかりを示した。</p> <p>学生に原文の現代語訳を提出させ(分担を決め、一人当たり年2回)、その現代語訳および内容の解説文(こちらは小川が作成)を配布して、学生には馴染みにく、それ自体は読むのが難解な『問答』をできるだけ平易に理解できるよう工夫を凝らした(現代語訳に資する材料として、語句等の詳細な注釈文書も配布)。解説文は前年度作成のものを更新した。</p> <p>技術倫理(5年)</p> <p>授業で扱う定番的ケース(事故、不祥事)のほか、最新のケースについて、情報収集に努めた。この年度はダイハツの検査不正が挙がる。従来、技術倫理授業では組織風土の問題点と関連付けた内容を講義してきたが、ダイハツ(および親会社のトヨタ)事例を新たに組み込んだ授業内容にすることが課題となった。</p> <p>技術倫理に環境倫理を「循環」をキーワードとして接続し、「環境への配慮」「廃棄物と循環型社会」という項目を立てた。</p>

研 究	前年度に引き続き, 環境倫理学, 情報倫理学について情報収集に努めた. いずれも, 技術倫理との接続(関連付け)を目指している.
社会貢献	京都ヘーゲル読書会という研究会の世話人として, 年2回(夏・冬)の研究会運営に尽力. 産学連携推進会主催の経営資質増進セミナーにおいて講演を行った(2023年4月27日. オンライン). タイトルは「世代間倫理の可能性——環境への配慮行動を支える思想——」

## 教育・研究などへの取組状況(令和4年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目文系
職階	氏名
教授	小川清次

項目	取組状況
教 育	<p>特別研究(3年生)</p> <p>(前期)…班毎に行われる研究テーマ設定および調査遂行に関して、適宜アドバイスをを行い、必要に応じて、調査対象の具体的例示等を行った。また、研究報告会においては、まとめ・結論に関する問題点を自分たちが気づくような誘導的質問に努めた。</p> <p>(後期)…個人毎になされるテーマ設定および調査遂行に関して、毎回報告書を提出させ、各自の進行度合いの把握に努め、かつ、調査の問題点について一人ひとりと話をするように努めた。各人が設定するテーマについて、必要に応じて担当者(小川)も勉強した。学生が研究内容をまとめる際には、調査した事柄と自分自身の考え、意見とを峻別することに重点をおいて指導した。</p> <p>社会文化論(4年)</p> <p>中江兆民『三酔人経綸問答』を読み進め、人権や民主主義について考える手がかりを示した。</p> <p>学生に原文の現代語訳を提出させ(分担を決め、一人当たり年2回)、その現代語訳および内容の解説文(こちらは小川が作成)を配布して、学生には馴染みにく、それ自体は読むのが難解な『問答』をできるだけ平易に理解できるよう工夫を凝らした(現代語訳に資する材料として、語句等の詳細な注釈文書も配布)。</p> <p>技術倫理(5年)</p> <p>授業で扱う定番的ケース(事故、不祥事)のほか、最新のケースについて、情報収集に努めた。この年度は日野自動車の検査不正が挙がる。検査不正に関しては三菱自動車が代表的だが、日野自動車の事例を受けて、授業では検査不正を中心にし始めた。</p> <p>技術倫理に環境倫理を接続させ、「環境への配慮」という項目を立てた。時間(授業回数)の制限のため、環境倫理学の基本概念を抑えるにとどまってしまったことが反省点。</p>

研 究	前年度に引き続き, 環境問題の諸事例の資料収集につとめたほか, 情報倫理学(特にネット空間の倫理学)について, 学び始めた. ネット空間内に生じた倫理的諸問題の事例収集にもつばら努めた.
社会貢献	京都ヘーゲル読書会という研究会の世話人として, 年2回(夏・冬)の研究会運営に尽力. 門真市立第5中学校へ出前授業を行った(2022 年3月2日. オンライン). タイトルは「技術と人間社会——自然との関りにも目を配りながら——」.

### 教育・研究などへの取組状況(令和3年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目文系
職階	氏名
教授	小川清次

項目	取 組 状 況
教 育	<p>現代社会(2年生)</p> <p>教科書を使用せず, 項目毎(例;「現代の民主政治」)に自作プリントを配布. プリントは空欄を諸所に配し, 学生は資料集を参照しながら空欄を適語で埋める形式にして, 自学を促した. また, 項目に対応した新聞記事も使用し, 学生にじじ問題や話題への関心を高める工夫もした.</p> <p>配布したニュース記事に関連したテーマで簡単なレポートを書かせ, 学生における時事問題への理解や, 自身の考えをわかりやすくまとめ, 伝える練習をさせた.</p> <p>特別研究(3年生)</p> <p>(前期)…班毎に行われる研究テーマ設定および調査遂行に関して, 適宜アドバイスをを行い, 必要に応じて, 調査対象の具体的例示等を行った. また, 研究報告会においては, まとめ・結論に関する問題点を自分たちが気づくような誘導的質問に努めた.</p> <p>(後期)…個人毎になされるテーマ設定および調査遂行に関して, 毎回報告書を提出させ, 各自の進行度合いの把握に努め, かつ, 調査の問題点について一人ひとりと話をするように努めた. 各人が設定するテーマについて, 必要に応じて担当者(小川)も勉強した. 学生が研究内容をまとめる際には, 調査した事柄と自分自身の考え, 意見とを峻別することに重点をおいて指導した.</p>

	<p>技術倫理(5年生)</p> <p>授業で扱う定番的ケース(事故, 不祥事)のほか, 最新のケースについて, 情報収集に努めた. この年度の場合は三菱電機の検査不正がまず挙がる. 「検査は利益を生まない」(メーカー退職者から直接に聞いた言葉)という考えが品質管理不正の土壌を成すという事態を授業に取り入れ始めた.</p> <p>技術倫理に環境倫理を接続させるべく, 資料収集を始めた.</p>
研 究	<p>研究テーマを技術倫理と環境倫理との接続とし, 準備作業として環境倫理学の基礎概念(地球全体主義, 世代間倫理等)を改めて学びなおした. また, 環境問題の諸事例の資料収集につとめた.</p>
社会貢献	<p>京都ヘーゲル読書会という研究会の世話人として, 年2回(夏・冬)の研究会運営に尽力.</p> <p>本校の産学連携推進会主催による第3回経営資質増進セミナーで講演を行った(2021年11月30日オンライン). タイトルは「技術と「未来」——環境倫理の視点から——」</p>